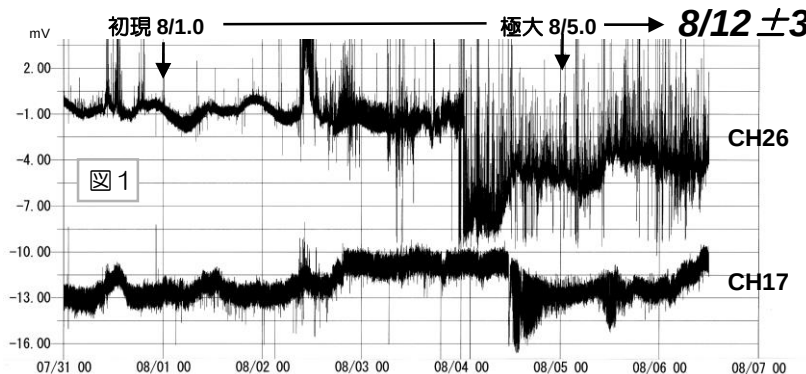


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、 $M7.3 \pm 0.5$ の地震が $1/2 \pm 2$ に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。

※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模 $M6.1 \pm 0.5$ 、海深補正 $M0.9 \pm 0.3$ 、推定規模 $M7.0 \pm 0.5$ ）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

No1778 Stage-37（初現～極大）は $8/4 \pm 3$ を示した→ $8/5.0$ にCH17・26に極大 $8/1.0$ 初現～ $8/5.0$ 極大 Stage-38 は $8/12 \pm 3$ を示す→ $8/12$ or $8/13$ 発生の可能性

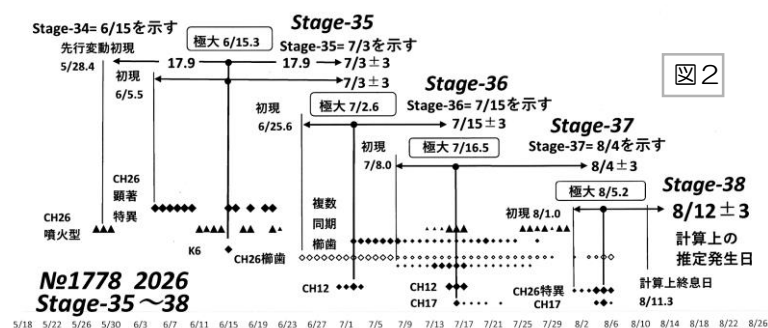


CH26変動は直前変動ではなく
Stage-38 の極大認識。Stage-38
が最終である場合＝対応地震発生

◆前続報でCH26の変動を Stage-37 の直前変動の可能性と考えていました。しかし、CH26の変動は長く継続、8/4からは基線電圧値にも大きな変化があり、基線も変動のある無振動基線に変化。同じく8/4からはハケ岳のCH17にも特異変動が出現ししました。図1のとおり、CH17・26の変動の極大は8/5.0の可能性認識です。

◆Stage-37 の初現 7/8 ～ 極大 7/16.5 が示す $8/4 \pm 3$ にあたる、前述の $8/5.0$ が次Stageの極大である可能性が高いと考えます。図1のとおり、8/1.0からCH26に基線に細かな歯歯が密集して基線が太くなる現象が現れています。ここが Stage-38 の初現である可能性が考えられ、図1上部に記したとおり、 $8/12 \pm 3$ を示すことになります。

◆ $8/12 \pm 3$ に再び極大が出現する場合は、Stage-39に移行することになりますが、Stage-38 が最終 Stage である場合は、 $8/12 \pm 3$ ($8/12$ or $8/13$) が対応地震発生の可能性となります。

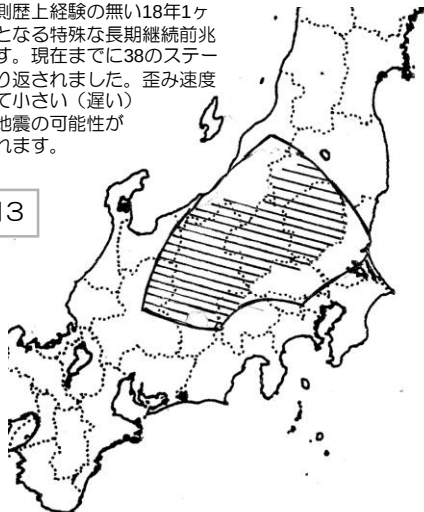


No1778 2026
Stage-35～38

※本来は昨日8/5に発表すべきでしたが、秋田観測点の観測計測用PCが不調となり、リモート操作でも復旧しないため、8/4夜解析後にハケ岳を出発し、翌8/5早朝秋田観測点着、計測用PC他を交換設定、受信機設定周波数調整を実施し、同日8/5夕刻にハケ岳着で出張していたため、8/5夜は疲労で続報を書けませんでした。お許し下さい。なお、本日の続報は16時発表ですが、HP更新をして下さっている方の仕事の関係で夜遅くなるということです。こちらもお許しください。

No1778前兆変動は2008年7/4初現で、観測歴上経験の無い18年1ヶ月継続となる特殊な長期継続前兆変動です。現在までに38のステージが繰り返されました。歪み速度が極めて小さい（遅い）領域の地震の可能性が示唆されます。

図3



●推定領域：図3の実線領域内＝大枠推定領域
斜線領域＝火山近傍で可能性が考えやすい推定領域

●推定規模：主震＋余震型の場合＝ $M8.0 \pm 0.3$
($M7.7 \sim M8.0$ の可能性高い) または 複合地震活動
※複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが $\log L = 0.5M - 1.8$ (Utsu.)式で、合計で110～150km程度となる複合地震活動の可能性有（例： $M7.1 \pm 0.3 + M7.3 \pm 0.3$ 等）
○地震発生に伴う震源に近い火山での噴火の可能性は低い見解
但し今後、噴火型が観測された場合は噴火の可能性も有

●推定時期：8月12日 or 13日（最大誤差： $8/12 \pm 3$ ）
但し、Stage-38 が最終 Stage である場合、 $8/12 \pm 3$ に極大出現の場合は修正

○推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
○推定発生時刻：午前 9時±2時間 or 午後 6時±3時間
(複合地震では当てはまらない場合有)

※18年継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。
※推定に近い地震が発生した場合でも被害の少ないことを祈ります。